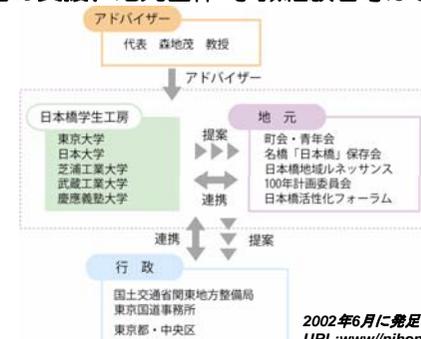




地域小学校の総合的な学習を通じたまちづくり
～日本橋学生工房の活動を通じて～

日本橋学生工房は、

- ◆ 利害のない立場からまちづくり
- ◆ 地域行事やボランティアを通して、まちの人と共にまちづくり
- ◆ 国土交通省の支援、地元団体・学識経験者等からのアドバイス



2002年6月に発足 2005年4月状況
URL:www/nihonbashi

まちづくりに対する提言により、
日本橋周辺地域の活性化を促すことを目的としている

背景・目的

- ▶都市再生の重要性が高まっている
- ▶市民の都市に対する嗜好や要求が様々である
- ▶市民の参加や協働の重要度や認知度も高まりつつある

しかし、市民は・・・

- ▶市民が地域への愛着心が薄くコミュニティーが弱く、参画が少ない
- ▶ご近所付き合いの希薄化

- ・後世の主役である**子ども**にまちへの関心を芽生えさせる
- ・子どものまちづくりへの献身的な姿勢からの**波及効果**
- ・子どもだけでなく、まちの人にとって
小学校が永続的なまちづくりの『場』になる

小学校のまちづくり授業までの 取り組みについて



教育現場に外部者が入ることが可能か？

教員の声
生徒の治安、小学校の年間カリキュラム、子供の育成等の課題

そこで、

教育現場への入口として

- ・地域行事を通じて保護者との交流
- ・小学校の授業補助や部活動のコーチを通じて教職員との交流



- ・各小学校のこどもの様子や教育方針を理解する
- ・小学校に外部者が関わることへの警戒心・懸念を軽減する

『まちづくり授業』設計について

まちづくり授業の設計ポイント

- (i) 子どもの柔軟な発想を最大限引き出し、実現性がある授業
- (ii) 子どもが授業に対する関心や興味ある題材や休憩のタイミングを考える
- (iii) 授業に留まらず、自宅へ持ち帰り調べる作業や模型材料の収集ができる課題を設定し、家庭内でまちのことを話す場を演出
- (iv) 小学校内の授業に留めず、保護者や地域の方々へ発表する場を演出
- (v) 小学校の年間行事を考慮した授業運営

5

授業設計に基づいた授業案

企画1 隠れ家をつくる

日常の遊びの延長として、一緒に日本橋のまちづくりを考えていきたい。



企画2 日本橋の家をつくる

将来、自分達が日本橋に住むとしたら・・・からスタートし、敷地を選択し、様々な素材を使って模型をつくる。



企画3 日本橋の未来をつくる

日本橋のまちが将来どのようなになればよいかについて考え、1/100程度のスケール模型を作成する。



6

『まちづくり授業』の実施

対象学校：東京都中央区立常盤小学校

対象学年：小学5年25名

実施期間：2004.9～2005.3

各教科・道徳・特別活動の年間授業配当表

	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭科	体育	道徳	総合	特別活動	総授業 時数
5年生	180	90	150	95	50	50	60	90	35	110	35	945

小学校まちづくり授業のながれ 約53時間授業実施

1コマ：40分

1. 日本橋のまちづくりについて 4時間
- ▼
2. まち歩き 4時間
- ▼
3. まちを理解する 15時間
- ▼
4. 模型づくり 26時間
- ▼
5. 発表会 4時間
- ▼
6. まちの人を囲んだ発表会 開催

8

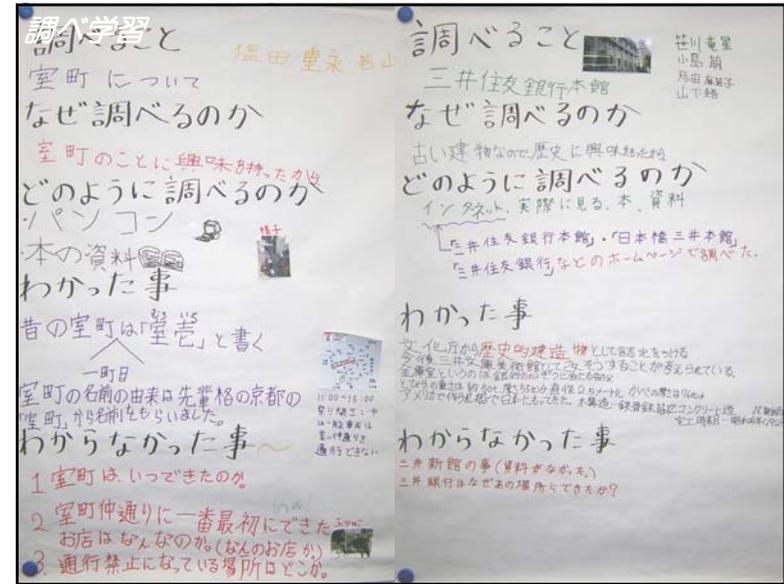
1. 日本橋のまちづくりについて……4時間

子ども達がまちづくりの総合的な学習への関心を高める

ポイント:

授業の始まりが肝心!

どれだけ興味を惹きつけるかが、今後の授業を左右する



2. まち歩き

4時間

まちづくりへの関心を高めるために、実際にまちへ

ポイント:

- ▶できるだけ子どもの見たい場をルートに入れる
- ▶実際のまちの人と会話
- ▶遠足の感覚を演出



3. まちを理解する

15時間

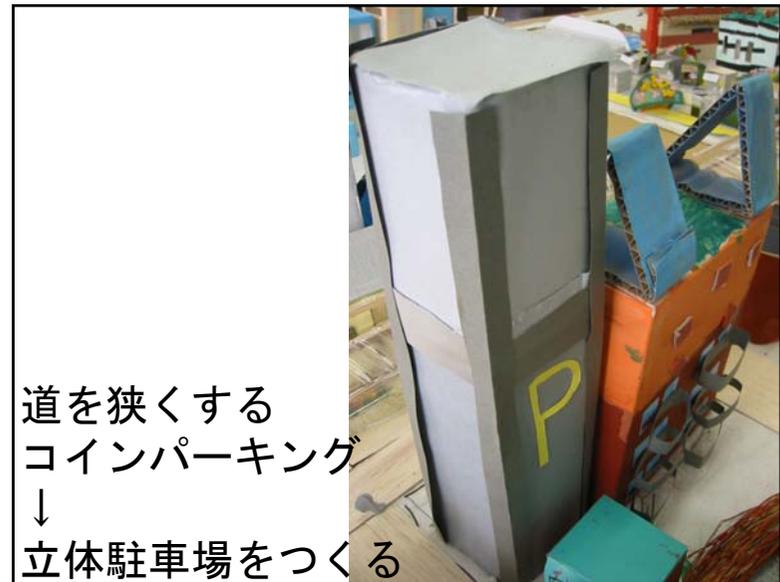
ポイント:

- ▶大学の先生の講義
- ▶スケール感
- ▶都市のモニュメントの構成



室一仲通りのテーマ

明るくにぎやかな室一仲通り



日本橋川のテーマ

みんなが親しめる日本橋川



中央通りのテーマ

人が多くて明るい中央通り



6. まちの人を囲んだ発表会 開催



授業実施の効果

対象:①小学生、②保護者

アンケート内容:授業ごとの感想(小学生用)

授業後のまちづくりへの意識(小学生、保護者用)

実施日:毎回授業ごとの感想(2004, 9~12月 計5回)

授業後のまちづくりへの意識(2004, 12~ 計1回)

子ども達が解きやすいように、
全て手書きで作成しました

The image shows several handwritten survey forms and a table. The forms contain questions about the class and awareness of community building. The table has columns for '授業ごとの感想' (Comments on the class) and '授業後のまちづくりへの意識' (Awareness of community building after class), with rows for '小学生' (Elementary school students) and '保護者' (Parents). The table data is as follows:

	1	2	3	4
小学生	1	2	3	4
保護者	1	2	3	4

アンケート結果

授業の感想は・・・

⇒模型づくりに興味を示すことも多い

授業が終わってからのまちに対する考え方は・・・

⇒漠然としたまちづくりではなく、まちづくりの第1歩として今からできるまちづくりの意見が多かった
(地域行事の参加やゴミ拾い、下級生へ日本橋ガイドをする)

日本橋に対する意識は・・・

⇒75%の親子が日本橋のまちづくりに興味を持った

30

小学校のまちづくり授業を終えて

- ・後世の主役である**子ども**にまちへの関心を芽生え
⇒生活しているまちへの意識がもてるようになった
⇒まちづくり=人づくり
- ・子どものまちづくりへの**波及効果はある！！**
- ・子どもだけでなくまちの人としての**小学校**が永続的なまちづくりの『場』になる

31

今後のまちづくり授業への展開

- ➡子どもたちのまちづくりの貢献性や実現性を高める支援や制度
- ➡大学生をはじめ大学の先生からのスキル面での支援
特に、小学校教員が他分野で活躍している大人と子どもが交流できる機会を求めている
- ➡地域特有まちづくり授業の指導マニュアルの必要性

32